

はい、遺産にします
「はい」の年
2024年・一月・14日
ポー・スターン・ブレイディ

1986年、夫と私は結婚して1年が経ち、友人が確実な投資を持ちかけてきました。彼は私たちに1,000ドルをかき集めて投資するよう勧めました。彼は莫大な利益を約束した。そうですね、私たちは新婚で、お金がまったくなく、将来の利益のために今欲しいものを犠牲にすることはできないと感じていました。彼は「車を売って、しばらくバスに乗り」と主張しました。しかし、そうではありません。私たちは、当面のこのためにもっとお金が必要だと確信しました。株はマイクロソフトでした。当時の投資額1,000ドルは、今日では3,683,965ドルの価値があります。時々自分を責めることもありますが、お金が2倍になったので、2000ドルに達したらすぐに売っていただろうと確信しています。

投資は難しいものです。将来、より良いもの、より美しいもの、より豊かなものを生み出すためには、今行動を変える必要があります。私は今でも経済的に少し苦労していますが、別の意味で常にそれを感じてきました。

私は幼い頃から「レガシー」という言葉に多大な影響を受けてきました。レガシーとは、私が自分の世界に行った投資から残されたものです。私が残した遺産を気にしているのは自分ではありません。それはすべて祖父と両親のおかげです。彼らは、自分たちの後の世代に美しく永続するものを築くことに深い関心を持っている人々です。彼らは、自分たちが神が建てている超高層ビルの中間階であり、本当に本当にうまく建てたいと思っていることを理解しています。父は、曾祖母が高校生で子どもがいなかったにもかかわらず、夜通し私たちのために「スタンリーの子供たち」のために祈ってくれた話をしてくれました。まさに未来を見据えた女性です。

今、私はこれまで以上に未来に焦点を当てていることに気づきましたが、目先の影響を非常に気にする世界でこのように生きるのは奇妙に感じます。しかし、私たちの神がアブラハム、イサク、ヤコブの神と呼ばれているという点においてさえ、聖書の至るところにそれが見られます。彼は世代を超えた神です。彼は建物のすべてのフロアに気を配っています。彼が気にしてくれるなら、私も気にかけたいです。

少し時間をとって、自分の建物を思い浮かべてください。何階を建てていますか？メルが私の建物の1階を建て、スタンとエレンが次の建物を建てました。私は3階にいます - 私の天井が4階の始まりを作っています - ホイトニー、ジョサイア、テス、そして他の7人によって建てられます。5階はグレイソン、フィニアス、セス、レナ、そして彼らに加わる人次第だ。レガシーを理解するということは、私たちの構築方法が今後構築されるすべてのものに影響を与えることを理解していることを意味します。それは私たちが終わりを念頭に置いて生きていることを意味します。あなたに子供がいらない場合、または意図的にあなたのために家を建ててくれた親がいらない場合、これは特に当てはまります。あなたには、あなたの後に来る多くの人のために、あなたの世界で何か素晴らしいものを築くチャンスがあります。私たちは皆、神が造られた建物の一部です。

したがって、将来が重要であると信じなければ、私たちは好きなように生きて大丈夫です。私たちは自分が望むように人々を扱うことができます。私たちは神を自分の望むように扱うことができます。し

かし、私たちの床が建物全体の一部であると知っているなら、私たちはイエスのように建てなければなりません。どの ...すごい、それは大変そうに思えませんか？

ここ数年、私は私たちが残す遺産を正確に決定するものを見つける旅を続けてきました。そして、たくさんのことについてそれを実現することができます。人格、誠実さ、服従、忠実さ、それらすべてが重要ですが、私たちのお金で言えば、私たちの誰かが何を残したとしても、それは3つのものに帰着します:愛と、痛みと、恥です。

私たちがこの地球上で何を作り、何を残すかは、主に私たちが与え、受け取る愛をどのように扱うかによって決まります。

与えたり受け取ったりする痛みに対して私たちは何をするのか。

私たちが与えたり受け取ったりする恥をどうするか。

その3つだけです。

愛. 痛み. 恥.

愛.

-最大の戒め。心、魂、思い、力を尽くしてあなたの神である主を愛し、あなたの隣人をあなた自身のように愛してください。

イエスはこのことについて非常に明確に教えておられるので、教えるのが冗長に思えますが、私たちは愛が宇宙で最も強力な力であるという事実を過小評価しているように常々感じています。絶対に平等ではありません。憎しみは強い、愛はもっと強い。苦みは強い、愛はより強い。不正義は強い。愛はもっと強いのです。パウロはそれを最も簡潔に言いました、「愛」です。一度もない。失敗します。

”わたしたちは、兄弟を愛しているので、死からのちへ移ってきたことを、知っている。愛さない者は、死のうちにとどまっている。”

ヨハネの第一の手紙 3:14 口語訳

メッセージには、「愛しない者は死んだも同然である」とあります。

その愛はどのようなものですか？

”主は、わたしたちのためにいのちを捨てて下さった。それによって、わたしたちは愛ということを知った。それゆえに、わたしたちもまた、兄弟のためにいのちを捨てるべきである。世の富を持っていながら、兄弟が困っているのを見て、あわれみの心を閉じる者には、どうして神の愛が、彼のうちにあるのか。子たちよ。わたしたちは言葉や口先だけで愛するのではなく、行いと真実とをもって愛し合おうではないか。”

ヨハネの第一の手紙 3:16-18 口語訳

恋愛は活発です。実質的な。私たちは愛という言葉に狂ったように投げかけます。「私はバナナが大好きです。コーヒーが好き。私は土曜日が大好きです。」しかし、イエスが命じられた愛は、感情、恐怖、哲学の血の系を通して働き、私たちの手や言葉から出始めるほど深く根を下ろします。私が自己犠牲の愛、つまり私に何かを犠牲にする愛の中で生き、行動し、話すたびに、私は自分の愛を慎重に、控えめに、安全に保つために邪悪な者の計画に致命的な打撃を与えています。毎回。まず私たちが神を愛する方法ですが、それを築いていく中で、次のようなことも変わります:

神が私たちに加わってくださったのは、

私たち(敵)を傷つける力を持つ(そしてそれを使う)者たち
(マタイ 5:43)

私たちを助ける力のない人たち(最も小さい人たち)
(マタイ 25:40 - 「あなたが最も小さい者のためにしてくれることは、私のためにしてくれたのです。」 - 神への私の愛の尺度が、どれだけ静かな時間を記録したか、またはどれだけ頻繁に聖書を読んだかではないとしたらどうなるでしょうか。1年で聖書を読みますか?それが、私が最も愛していないことで測られるとしたらどうなるでしょうか?私を助ける力のない人々に対して、私はどのような実際の実質的な愛を差し伸べているのでしょうか?)。

私たちが友人を愛する方法、敵を愛する方法、そして最も小さなものを愛する方法。

愛には代償がかかります。私たちの予定、時間、注意、忍耐、許し、理解、お金、希望。(たぶん:私の思いやりの子 - 私はお金のかからない方法で愛していました。自動チェック減点。しかし、私は言葉と時間をかけて愛していませんでした。それは神がレイチェルに対して私に呼びかけた愛の扱い方を誤ったものです。)危険です。(例)愛は決して失敗しない。

痛み。

私たちは痛みを経験します。私たちは他人に苦痛を与えます。これらは否定できない人生の事実です。痛みには人間関係を破壊する力はないが、痛みには恥を生み出す力があり、それが人間関係を完全に破壊するということを理解するのに長い時間がかかりました。

間違った言葉による痛み。間違った行動。痛みを引き起こすことについては、意図的ではない可能性もありますが、それでも痛みがあり、痕跡が残ります。その痕跡をどうしますか?私たちが受け取るマークと私たちが与えるマーク。

私たちが受け取るマーク: 許す人の人生に対する許しの破壊的で超自然的な力を理解します。イエスの心が痛みを通してどのように私たちの内側に形成されるかを理解する:

”むしろ、キリストの苦しみにあずかればあずかるほど、喜ぶがよい。それは、キリストの栄光が現れる際に、よろこびにあふれるためである。”

ペテロの第一の手紙 4:13 口語訳

興味深いのは、私たちの信仰の中心は十字架の十字架であるにもかかわらず、私たちは依然として、私たちを神の子に似せるために神がどのように苦しみをを用いられるかということではなく、神がど

のように苦しみを防ぐかによって、私たちに對する神の愛を測ることが多いということです。神が痛みを引き起こさないことを理解していれば、私たちはイエスの苦しみに加わりながら、その痛みが私たちの人生にもたらしている働きに目を向けることができます...それは私たちをより慈悲深く、神の愛の中でより安全に、より認識し、より深くすることができます。他の人を助けることに積極的です。苦い思いではなく痛みを目的の原動力とすると、私たちは王国の秘密の資源を利用していることになります。イエスの十字架の痛みは、私たちの自由、希望、そして永遠を買いました。ほぼ絶え間なく絶望と絶望が続く世界で、自分が経験した痛みをどのように投資できるだろうか？

私たちが与える痛みで:

”だから、互に罪を告白し合い、また、いやされるようにお互いのために祈りなさい。義人の祈は、大いに力があり、効果のあるものである。”

ヤコブの手紙 5:16 口語訳

教会は告解という精神的な実践をほとんど失ってしまいましたが、それは悲劇です。私たちの失敗は、他人によって、自分自身によって、そして何よりも敵によって、私たちが辱めるためによく利用されるため、私たちは失敗を隠したり、失敗を正当化したりすることで生き残ることを学んできました。(車で3時間運転中: 子供たちそれぞれ: 何を告白して許しを乞う必要がある? 3/4. 私たちは告白するということは意図的な不正行為を認めることを意味すると考えているが、それは真実ではない。私にとって、告白とは正当性を与えることだった私の言葉や行動の向こう側で彼らが感じた痛みについて、そしてそれが意図的なものではなく、私が彼らを愛していないからではないことを彼らが理解するのに十分な説明だけでした。これが彼らに何かしがみつくものを与えました。「痛みを引き起こしたのは彼らの母親だとしても、私は彼らに痛みを相談できる母親を与えてくれました。彼らは私が残そうとしている構築者です。彼らはこの痛みを重荷として背負うか、そうでなければ彼らを助けることができるでしょう」それは彼らの目的を達成するための燃料であり、私は彼らが目的を持った王国建設者として大成功を収められるようにしたいのです。) 不当な扱いをした人に告白できない場合は、神かカウンセラーに告白してください。告白には超自然的な力があります。それは恥を武装解除します。

恥:

恥とは陰湿なものだ。それは人間関係の毒であり、感情の牢獄です。罪悪感と言う: 私は何か間違ったことをした...恥は言う: 私は何か間違っている。恥とは、神が愛している自分自身の一部を隠したり、殺したりしたくなるようなものです。愛にはリスクが伴います。ですから、愛が返されないとき、私たちは恥を感じます。私たちの一部には価値がないということ。私たちは人を愛するように造られているので、それに失敗すると、神の愛や配慮を受ける価値がないと感ずることがあります。これは私たちを滅ぼします。恥は破壊する。いつも。罪悪感私たちに健全な変化をもたらすかもしれませんが、恥は常に破壊します。

ジョンはこれを書いているとき、恥について話していると思います:

これが、私たちが真理に属していることを知り、神の御前で心を休める方法です。心が私たちを非難するとしても、私たちは神が私たちの心よりも偉大であり、すべてをご存じであることを知っています

す。親愛なる友人の皆さん、私たちは心が私たちを非難しなければ、神の御前に自信を持ち、神の命令を守り、神に喜ばれることを行うので、求めるものは何でも神から受け取ります。

ここですべてのピースがどのように連動しているかわかりますか？私たちが恥を感じると、私たちの心は私たちを非難します。彼らは私たちに価値がないと言い、それが私たちが神の前に自信を持つことを妨げ、神の道を歩むことを妨げます。そのせいで、私たちは勇気を出して悪びれることなく他人を愛することができなくなります。恥はあらゆる前進の妨げとなります。

(議論/会話の監査 - 私は恥をかかせましたか？私は恥ずかしさを感じましたか？)

”子たちよ。わたしたちは言葉や口先だけで愛するのではなく、行いと真実とをもって愛し合おうではないか。それによって、わたしたちが真理から出たものであることがわかる。そして、神のみまえに心を安んじていよう。なぜなら、たといわたしたちの心に責められるようなことがあっても、神はわたしたちの心よりも大いなるかたであって、すべてをご存じだからである。”

ヨハネの第一の手紙 3:18-20 口語訳

結局のところ、他人と関わる人生において、愛、痛み、恥に直面するかどうかにかかわらず、私たちは、誰よりも私たちを愛し、私たち自身よりも私たちのことをよく知っているイエスの前ですべてを明らかにしなければなりません。これは完璧な科学ではなく、精神的な実践です。つまり入っても大丈夫です。あなたに最も近い人に「私があなたの人生に何か苦痛を与えたことはありますか？」と尋ねても問題ありません。あなたをもっと愛する方法はありますか？それがあまりにも怖く聞こえるなら、日記から始めて、安全な場所に身を包み、イエスに尋ねてください：

-私が与えた愛はどうですか？私は愛を受け取るのにどうやって取り組んでいますか。

-私はどのようにして友達を愛しているのでしょうか？私の敵？少なくとも？

-私の人生における目的を果たさない痛みはありますか？

-私が引き起こした、または受けた痛みのうち、告白されず、許されず、癒されていない者がありますか？

-恥が感情的または人間関係の悪影響を引き起こしている領域はありますか？

-私の過去の中に、あなたが訪れて癒したいと思うような優しい場所がありますか？

あなたが正直に答えるすべての質問、そしてあなたの世界でうまく愛するためにあなたが行うすべての行動は、あなたが構築している遺産への投資です。それが生み出す未来のために、今日の代償を決して後悔することはありません。